

令和6年度 南区 区域まちづくり事業 事業概要

所属名【南保健センター】

事業名	みなみ健活推進事業 ～みんなでひろげる健康活動の輪～
事業目的	<p>○企業・区民協働・他課との連携を充実させ、効果的な健康づくりの取組を実施する。特に予防啓発の機会が希薄で健康に意識の低い無関心層や少しのきっかけがあれば受診につながる層へのアプローチの機会を作る。また、個別アプローチにより生活習慣病の予防と重症化予防を図る。</p> <p>○高齢者がより健康で長生きできるように、「みなみ5万人シニア元気！プロジェクト」として主な介護要因である認知症予防・フレイル予防を中心に効果的な取組を進め、安心して生活を送ることができるように支援する。</p>
事業内容	<p>① 「みなみ健活キャラバン」の実施。多くの区民が来場するイベントなどにおいて、健康への無関心層やハイリスク層（未受診・治療中断など）へのアプローチを実施する。</p> <p>② 認知症の発症・要介護状態となることを防ぐため、認知症・要介護状態への移行を防止できる軽度認知障害（MCI）・フレイルの認知度をあげ、予防行動を普及するための講演会などを実施する。</p> <p>③ 保健センター事業やみなみ健活キャラバンでは出会えない区民の生活習慣・健康意識の改善を図るため、XなどのICTを活用した健康情報の発信や南海高野線・泉北高速鉄道の電車内で健康情報を掲示する。</p> <p>④ 南区健康づくり推進委員会や地区活動組織、学校、医療機関、事業所などに加え、SENBOKUスマートシティコンソーシアムや堺市包括協定企業と連携し、当事業を推進する。</p>
実施場所	南保健センター・南区内ホール
実施時期	通年（南区健康づくり推進委員会定例会は年4回）
実施主体	南保健センター、南区健康づくり推進委員会
事業効果	<p>○企業や健康づくり推進委員会などの区民と協働することで、健康づくりに関する情報の届きにくかった区民にも伝えることができる。また、啓発媒体を用いて幅広く情報発信していくことにより、区民全体の健康への関心を高め、健康レベルの向上につなげる。青壮年期から健康に関心を持ってもらうため、血圧測定などの身近な健康チェックの機会を確保し自分の健康管理に取り組むことで生活習慣病予防や重症化を防ぎ、健康寿命の延伸に寄与することができる。</p> <p>○南区は高齢化率が堺市内で最も高い。軽度認知障害（MCI）・フレイルに早期に気づくこと、また予防行動をとることで、健康寿命の延伸につなげることができる。</p>
活動指標	<p>講演会・教室の参加者数、地域への啓発回数、関係機関との連携回数、行動変容の数、SNS利用数、健康チェック機器の利用者数など</p> <p>南区高齢者 47,348人、高齢化率は35.3%と堺市内で最も高い。（令和6年2月末時点）</p>
備考	